

令和 6 年（2024 年）9 月 20 日

0123 アート引越センター

アート引越センター株式会社

シリーズ累計視聴回数 2900 万を超える大人気アニメもいよいよ最終話！

『#09_いずみちゃんの想い そして…』篇 9 月 20 日(金)より公開

花澤香菜(いずみちゃん役)、石田彰(アーボット役)
豪華声優を起用した未来の引越を描いたアニメーションムービー完結！

アート引越センター株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：寺田政登）は、未来の引越を描いたアニメーションムービー最終話『#09_いずみちゃんの想い そして…』篇を 9 月 20 日（金）より当社公式 H P および公式 YouTube チャンネルにて公開します。

【最終話 #09_いずみちゃんの想い そして…篇】あらすじ

主任から「永久思い出ボックス」を受け取り、元の時代へ戻るいずみちゃん。自宅のベッドで目が覚めて、微笑みながら友人たちとの写真を手に取る。引越当日の朝。桜並木を抜けてアート引越センターのトラックが自宅に到着する。「アート引越センターです！」聞き覚えのある声が出て、玄関を開けると…。



【キャンペーンのお知らせ】

最終話の公開を記念して、いずみちゃん役（花澤香菜）
アーボット役（石田彰）直筆サイン入りクリアファイルが抽選で
4 名様に、アーボットアクリルスタンド（サインなし）が 10 名様に当たる
X（旧：Twitter）フォロー＆リポストキャンペーンを実施します。
詳しくは、X 公式アニメーションムービーアカウント（@art0123_pr）
もしくは H P（<https://www.the0123.com/anime/>）をご覧ください。



※賞品画像はイメージとなります

当社では今後も「暮らし方を提案する」企業を目指し、常に新たな取り組みにチャレンジし、より多くのお客さまに
お喜びいただけるように努めてまいります。

アニメーションムービーに関する概要につきましては、次項以降をご参照ください。

【アニメーションムービー概要】

タイトル	「#09_いずみちゃんの想い そして・・・」篇	
公開日	9月20日（金）～	
公開場所	https://www.the0123.com/anime/	
制作スタッフ	クリエーティブ・ディレクター プランナー/コピーライター コピーライター マネージャー デザイナー クリエーティブ・プロデューサー アカウント・エグゼクティブ 監督 キャラクターデザイン サブキャラクターデザイン 脚本 プロデュース/アニメーション制作 音響制作 声優 エンディングテーマ曲 「あげるね！～アートなハートで～」 作詞・作曲 編曲 歌	若林 哲也（シェルパ） 川上 毅 山下 修平（シェルパ） 森 章（ADEX 日本経済広告社） 楠木 愛子（シェルパ） 越智 遥（シェルパ） 大槻 泰弘（ADEX 日本経済広告社） 泉 勝治（ADEX 日本経済広告社） 大石 美里（ADEX 日本経済広告社） 阿保 孝雄 堀 元宣 安食 圭 筆安 一幸 スタジオバインド 田中 理恵（マジックカプセル） いずみちゃん / 花澤 香菜 アーボット / 石田 彰 小坂 明子 富永 航大 ナカタ カスミ

【キャスト】

いずみちゃん ： 花澤 香菜 （Kana Hanazawa）

2月25日生まれ 東京都出身

主な出演作は、『PSYCHO— PASS サイコパス』（常守朱）、
『うる星やつら（2022）』（ラン）、『物語』シリーズ（千石撫子）、
『鬼滅の刃』（甘露寺蜜璃）、など。



アーボット ： 石田 彰 （Akira Ishida）

11月2日生まれ 愛知県出身

主な出演作は、『新世紀エヴァンゲリオン』シリーズ（渚カヲル）、
『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM』（アスラン・ザラ）、
『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』（猗窩座）、『銀魂』（桂小太郎）、など。



「#09_いずみちゃんの想い そして・・・」篇 ストーリーボード①



アート引越センター本社ビルの立体駐車場。
元の時代に帰るいずみちゃんに
主任が『永久思い出ボックス』を手渡す。



この先、挫折を感じることがあれば
アーボットと過ごした思い出を
振り返れば良いと伝える主任。



『永久思い出ボックス』が光り、
未来で過ごした思い出たちが
いずみちゃんと主任を包み込む。



ホバートラックに乗り込み、お礼を伝えるいずみちゃん。
主任は頬に手をあてながら
「こちらこそ、ありがとう」とこたえる。
出発するホバートラック。



“どこかで会ったような気がする”主任について
頬に手をあてながら考えるいずみちゃん。
アーボットはいずみちゃん次第で
その答えが見えてくると伝える。



未来の街の夜景を抜けて
勢いよく時空を超えていくホバートラック



夕陽が差込む自宅のベッドで目が覚めたいずみちゃん。
部屋には荷造り中の
アート引越センターのダンボールがある。
微笑みながら友人たちとの写真を手に取る。

「#09_いずみちゃんの想い そして・・・」篇 ストーリーボード②



朝になり、満開の桜並木を抜けて
アート引越センターのトラックが
いずみちゃんの自宅に到着する。

「アート引越センターです！」とアーボットの声に
反応するいずみちゃん。



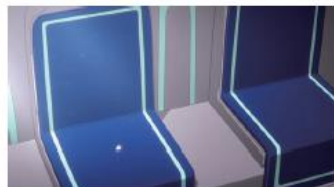
しかし、それはアーボットの雰囲気によく似た
アート引越センターのムービングスタッフだった。
改めて挨拶するいずみちゃん。



引越への想いを熱く伝えるスタッフだが、
くさいセリフに思わず自ら赤面してしまう。
それは以前のアーボットとの
やりとりを思い出させるものだった。



風が吹いて桜の花びらが光に照らされながら舞い散り、
穏やかな表情のいずみちゃんが空を見上げる。
花びらはアーボットが来た空に向かって飛んでいく。



1枚の花びらが光を散らしながら、
無人のホバートラックの座席に。
柔らかい光がさす。